

クマの出没に備える なぜクマが 里に下りてくるのか



2026年8月24日（月）

午後7時から午後9時30分

鯖江市役所4階多目的ホール

鯖江市西山町13-1

/オンライン参加可能

講師

茨城県自然博物館館長

東京農業大学名誉教授

山崎 晃司さん

申込・問合せ

鯖江市鳥獣害のない里づくり推進センター

Mail : SC-chojugai@city.sabae.lg.jp

Tel: 0778-51-2110 Fax: 0778-51-2420





鯖江市内では、平成18年、22年にクマの大量出沒が起こり、これまで山際電気柵の設置により、大きくクマの出沒が抑えられてきました。それでも、電気柵の未整備集落や砂防堰堤のある集落では、柿や栗などに誘引された出沒が繰り返して起きています。また、令和2、5年には、これまで出沒のなかった市街地（黒津川から長泉寺山周辺、三里山周辺）など人口密集地帯でもクマの危険な出沒が起こっています。

今回は、全国で起きているクマの出沒の現状を学び、鯖江市の現状を共有したうえで、今後の出沒に備え「今、何をすべきなのか」や「クマを正しく知り、正しく怖がる」方法をクマの専門家といっしょに考えます。また、集落のリーダーが対策を進めるうえで最悪の事態を回避するためのスキルを身に着けます。



内容：

報告 福井県内・鯖江市内でのクマの出沒の現状

基調講演

なぜクマが里に下りてくるのか

全国で起こっている事、福井県内の現状

意見交換 出沒に備えて何をすべきか



講師紹介 山崎晃司さん



茨城県自然博物館館長。東京農業大学名誉教授。

1961年東京都調布市出身。森林動物生態学が専門。東京農工大学連合大学院博士（農学）。ザンビア国立公園局野生動物調査官、東京都高尾自然科学博物館学芸員、茨城県自然博物館首席学芸員、東京農業大学地域環境科学部教授を経て、茨城県自然博物館館長

元日本クマネットワーク代表、元International Association for Bear Research and Management 理事、IUCNクマ専門家委員会委員、東京都自然環境保全審議会鳥獣部会長、千葉県環境審議会鳥獣部会長、環境省鳥獣保護管理プランナーなどを務める。

==== お申込み FAX 0778-51-2420 =====

- オンライン参加希望の方は右記二次元バーコードのフォームよりお申込みください。
- 会場参加希望の方はフォームまたは下記よりお申し込みください。



さばえのけものアカデミー第15期 第4回の受講を申し込みます

参加方法に○	お名前	おところ	連絡先電話番号/Email
会場・オンライン			
会場・オンライン			
会場・オンライン			

※ 開催2日前までに必ずお申込ください。

※ お預かりした個人情報は本講座の運営のみに利用します。